

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】平成28年4月21日(2016.4.21)

【公開番号】特開2014-204595(P2014-204595A)

【公開日】平成26年10月27日(2014.10.27)

【年通号数】公開・登録公報2014-059

【出願番号】特願2013-80255(P2013-80255)

【国際特許分類】

H 02 K 37/14 (2006.01)

H 02 K 5/22 (2006.01)

【F I】

H 02 K 37/14 F

H 02 K 5/22

【手続補正書】

【提出日】平成28年3月7日(2016.3.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

ロータおよびステータを備えたモータ本体部と、

前記モータ本体部の径方向外側に設けられた端子台と、

該端子台に保持され、前記モータ本体部に給電するための複数の端子ピンと、

前記端子台を径方向外側で覆うように前記モータ本体部に取り付けられ、モータ軸線方向の一方側に向けて開口するコネクタ挿入部を構成するカバーと、

を有し、

前記複数の端子ピンは各々、前記コネクタ挿入部でモータ軸線方向の一方側に向けて延在する接続部分を備え、

前記カバーには、該カバーの内面で突出して、前記接続部分の根元側を当該接続部分の延在方向に対して直交する方向の両側から支持する凸部が設けられていることを特徴とするモータ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記課題を解決するために、本発明に係るモータは、ロータおよびステータを備えたモータ本体部と、前記モータ本体部の径方向外側に設けられた端子台と、該端子台に保持され、前記モータ本体部に給電するための複数の端子ピンと、前記端子台を径方向外側で覆うように前記モータ本体部に取り付けられ、モータ軸線方向の一方側に向けて開口するコネクタ挿入部を構成するカバーと、を有し、前記複数の端子ピンは各々、前記コネクタ挿入部でモータ軸線方向の一方側に向けて延在する接続部分を備え、前記カバーには、該カバーの内面で突出して、前記接続部分の根元側を当該接続部分の延在方向に対して直交する方向の両側から支持する凸部が設けられていることを特徴とする。